

問1 不況の際、日本銀行が世の中に出回る通貨の量を増やして景気の回復を図るために行う、具体的な操作の内容として適切なものはどれですか。（2019年 香川公立入試 類似）

- | | | | |
|---|-------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 民間銀行が保有する国債を買い、その代金を支払うことで市場の資金を増やす。 | 2. 民間銀行に対して国債を売り、市場にある資金を日本銀行が回収する。 | 3. 道路や橋を建設する公共事業の予算を大幅に削減し、財政の健全化を図る。 | 4. 所得税や消費税などの税率を引き上げることで、政府の歳入を確保する。 |
|---|-------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|

問2 不況（景気後退）の際、日本銀行が景気を刺激するために行う金融政策として、適切な説明はどれですか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場に出回る通貨の量を増やす。 | 2. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場に出回る通貨の量を減らす。 | 3. 日本銀行が所得税の増税を決定し、家計の消費を抑制させる。 | 4. 日本銀行が公共事業の支出を増やし、雇用の機会を創出する。 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|

問3 企業や商店が事業資金を確保する際、銀行などの金融機関が仲介役となり、預金者から集めた資金を貸し出す仕組みを何といいますか。（2019年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------------|
| 1. 間接金融 | 2. 直接金融 | 3. 株式公開 | 4. クラウドファンディング |
|---------|---------|---------|----------------|

問4 企業が事業に必要な資金を調達する仕組みのうち、銀行などの金融機関から融資を受けるのではなく、企業が株式や債券を発行し、家計などの投資家から直接資金を調達する方式を何といいますか。（2023年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 直接金融 | 2. 間接金融 | 3. 信用創造 | 4. 公開市場操作 |
|---------|---------|---------|-----------|

問5 日本銀行は2024年7月に、偽造防止を目的として20年ぶりに新しい日本銀行券（紙幣）を発行しました。紙幣には江戸時代の藩札から続く「すかし」の技術や、明治時代以降から続く肖像画の採用など、高度な技術が盛り込まれています。このような紙幣の発行や、政府の資金の管理を行う日本銀行に関する記述として、誤っているものはどれか選びなさい。（2024年 宮城県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 国の予算案を作成し、予算をどのように使うかの計画を決定する。 | 2. 日本銀行券を発行する唯一の機関としての役割（発券銀行）を持つ。 | 3. 景気を調整するために、世の中に出回る通貨の量を調節する政策を行う。 | 4. 政府が納めた税金の管理や、政府からの支払い事務を行う（政府の銀行）。 |
|-----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|

問6 日本銀行が「政府の銀行」として活動する一番の理由はどれですか。（2018年 兵庫県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 国のお金を安全に管理し、支払いをスムーズにおこなうため | 2. 日本銀行が利益をたくさん増やして、国をゆたかにするため | 3. 一般の銀行よりも、もっと高い利子でお金を貸すため | 4. 全国の人たちから直接税金を集めて、集計するため |
|--------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|----------------------------|

問7 中央銀行が国債などの売買を通じて市場の通貨量を調節する「公開市場操作」において、インフレーション（物価の継続的な上昇）の懸念があるなど景気が過熱している際にとられる一連の動きとその影響として、適切なものはどれですか。（2017年 徳島公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売ることで通貨を回収し、金利を上昇させることで、企業の投資を抑制する。 | 2. 日本銀行が民間銀行の保有する国債を買い入れることで通貨を放出し、金利を低下させることで、消費を活性化させる。 | 3. 日本銀行が民間銀行に対して直接的な増税を指示し、通貨の流通量を強制的に減らすことで、物価の安定を図る。 | 4. 日本銀行が民間銀行に対して国債の発行を停止させ、通貨の新規発行を抑えることで、市場を沈静化させる。 |
|---|---|--|--|

問8 日本の金融システムにおける資金の流れのうち、企業が株式を発行して資金を調達する「直接金融」の説明として、最も適切なものはどれか。（2021年 高知公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 銀行が家計から預金として集めた資金を、銀行自身の判断で企業に貸し出す仕組み。 | 2. 企業が発行した有価証券を、資金の出し手が直接購入することで資金を融通する仕組み。 | 3. 日本銀行が景気調整のために、市中銀行に資金を供給したり回収したりする仕組み。 | 4. 個人が自動車の購入などの消費を目的として、金融機関から一時的に資金を借りる仕組み。 |
|---|---|---|--|

問9 企業が事業を拡大するために必要な資金を調達する方法のうち、銀行などの金融機関を介さずに、株式や社債を発行して投資家から直接資金を集める仕組みを何といいますか。（2020年 岡山公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 直接金融 | 2. 間接金融 | 3. 自己資本 | 4. 利子補給 |
|---------|---------|---------|---------|

答え合わせ・解説

| | | |
|----|--|---|
| 問1 | 答え 1 民間銀行が保有する国債を買い、その代金を支払うことで市場の資金を増やす。 | 日本銀行が通貨量を調整して景気を安定させる取り組みを金融政策と呼びます。不況時には、日本銀行が民間銀行から国債などを買い取る「買いオペレーション」を行い、銀行が貸し出しに回せる資金を増やすことで、企業などの経済活動を活発にします。逆に、景気が過熱しているときには国債を売って資金を吸収する操作が行われます。 |
| 問2 | 答え 1 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場に出回る通貨の量を増やす。 | 景気が悪いとき、日本銀行は一般の銀行が持っている国債を買い取る「買いオペレーション」を行います。これにより、代金として支払われた現金が一般の銀行に供給され、世の中に出回る通貨の量が増加します。その結果、企業や個人が資金を借りやすくなり、経済活動が活発化して景気の回復が図られます。なお、増税や公共事業は政府が行う財政政策であり、日本銀行が行う金融政策とは区別する必要があります。 |
| 問3 | 答え 1 間接金融 | 資金の出し手である預金者と、借り手である企業などの間に銀行が入り、融資という形で資金を仲介する仕組みです。預金者は銀行に資金を預け、銀行がその資金を運用して企業に貸し出すため、貸し手と借り手が直接取引をしないことが特徴です。 |
| 問4 | 答え 1 直接金融 | 企業が証券市場を通じて投資家から直接資金を集める仕組みを直接金融と呼びます。これに対し、銀行が預金者から集めたお金を企業に貸し出す仕組みは間接金融と呼ばれ、日本の金融システムにおいて重要な役割を果たしてきました。直接金融では、資金を出す側が投資先を自ら選ぶという特徴があります。 |
| 問5 | 答え 1 国の予算案を作成し、予算をどのように使うかの計画を決定する。 | 日本銀行は政府の資金の出し入れや管理を行いますが、国の予算案そのものを作成するのは政府（内閣）の仕事であり、その予算を審議・議決するのは国会の役割です。日本銀行はあくまで中央銀行としての立場から、通貨価値の安定や経済の健全な発展のために機能する機関であり、行政機関である内閣とは役割が明確に区別されています。 |
| 問6 | 答え 1 国のお金を安全に管理し、支払いをスムーズにおこなうため | 国が使う膨大なお金を個人の銀行で管理するのは大変でリスクもあります。日本銀行が政府の資金を管理することで、公共事業などの支払いを正確かつ確実におこない、国全体の経済活動が滞りなく進むように支えています。 |
| 問7 | 答え 1 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売ることによって通貨を回収し、金利を上昇させることで、企業の投資を抑制する。 | 景気が過熱し物価が上がりすぎているときは、日本銀行は市場の通貨量を減らすことで金利を上げ、経済活動を落ち着かせようとします。このとき、日本銀行は保有している国債を民間銀行に売り、その代金を回収する「売りオペレーション」を行います。これにより銀行が貸し出せる資金が減り、金利が上昇するため、企業の設備投資などが抑制される効果があります。 |
| 問8 | 答え 2 企業が発行した有価証券を、資金の出し手が直接購入することで資金を融通する仕組み。 | 直接金融は、借り手である企業が発行した株式や社債を、貸し手（投資家）が市場を通じて直接買い取ることで成立します。銀行が預金者と企業の間にとってリスクを負う間接金融に対し、直接金融では貸し手が直接的なリスクを負う代わりに、配当などのリターンを得る仕組みとなっています。 |
| 問9 | 答え 1 直接金融 | 企業が証券市場などを通じ、家計や投資家から直接資金を調達する仕組みを指します。これに対し、銀行が預金者から集めた資金を企業に貸し出す仕組みは、銀行が仲介役となるため「間接金融」と呼ばれます。 |